

# 留 学 報 告 書

記入日:2017年8月24日

所属学部／研究科・学科／専攻	政治経済学部経済学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア大学バークレー校 現地言語: 英語
留学期間	2017年5月～2017年8月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2017年8月22日
明治大学卒業予定年	2019年3月
<b>留 学 先 大 学 に つ い て</b>	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月～12月 2学期:1月～5月 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	約40,000人
創立年	1868年

留学費用項目	現地通貨 (米ドル)	円	備考
授業料	6,600	約720,000円	
宿舍費	4,900	約530,000円	宿舍日に食堂利用料が含まれる
食費	500	約55,000円	
図書費	150	約16,000円	
学用品費	200	約22,000円	
教養娯楽費	500	約55,000円	
被服費	500	約55,000円	
医療費	0	0円	
保険費		約50,730円	形態:明大サポート
渡航旅費		約200,000円	
雑費	200	約22,000円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計		約1,720,000円	

## 渡航関連

**渡航経路:** 東京、羽田→アメリカ、サンフランシスコ

渡航費用

チケットの種類	直行便
往路	約10万円
復路	約10万円
合計	約20万円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

特にありません。

## 滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

大学の寮

2) 部屋の形態

個室 OR  相部屋(同居人数3人)

3) 住居を探した方法:

大学のホームページ

4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

特に不便さはありませんでしたが、近くに mmc という寮があるので、そちらの方がオススメです。

## 現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか？ 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？

利用する機会が無かった

利用した:

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

問題が起こらなかったのだから分かりません。もし起きていたら保険の24時間の相談窓口につながっていたと思います。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？ その際どのように対処しましたか？

在留届を提出していたため、情報は大使館の方からメールにて知らされていました。

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮の wifi は不安定ではあるけれど、普通に使えます。

5) 現地での資金調達はどうに行いましたか？ (例:現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

3ヶ月分の現金を持参したため、特に現地では調達していませんでした。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

調達できないということはありませんが、歯ブラシに関しては日本のものの方が絶対に良いと思います。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

留学前に留学先のポータルページに登録してそこで決済を行ないました。決済にはクレジットカードを使いました。

## 卒業後の進路について

1) 進路

就職     進学     未定     その他:

2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
特にありません。
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
航空業界、パイロット志望
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例：留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
留学を通して、自分は覚悟を決めて物事に真剣に取り組むということの大切さを学びました。それは、今後の就職活動においても非常に大切になってくるでしょう。自分の立てた目標に向かって、精一杯努力することで、夢を叶えられるようにしたいです。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

### 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
10単位	<input checked="" type="checkbox"/> 未定 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Music in American culture	アメリカ文化における音楽
科目設置学部・研究科	Department of Music
履修期間	5/22-6/30
単位数	4単位
本学での単位認定状況	未定単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	スライド中心の講義形式、軽いディスカッション(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が4回
担当教授	Beezer de Martelly
授業内容	アメリカ音楽の変遷や、音楽の文化的影響などを歴史を通して学習する。アメリカ音楽を知ること、アメリカ文化も同時に知ることができる。
試験・課題など	週に1回レポートの提出、中間試験、期末試験、出席
感想を自由記入	先生が非常に良い人で、わからないことを質問すると丁寧に教えてくださるので、理解がしやすかった。
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
California	カリフォルニア
科目設置学部・研究科	Department of Geography
履修期間	5/22-6/30
単位数	3単位

本学での単位認定状況	未定単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	ディスカッションとレクチャー(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が3回
担当教授	Will Payne
授業内容	カリフォルニアの産業や、移民問題、歴史などを学習する。
試験・課題など	出席、中間・期末試験、レポート、プレゼン
感想を自由記入	カリフォルニアの産業の歴史を知ることができたり、移民問題の深刻さや実情、喫緊の課題などを勉強することができ、とてもおもしろかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
General Psychology	心理学概論
科目設置学部・研究科	Department of Psychology
履修期間	7/3-8/11
単位数	3単位
本学での単位認定状況	未定単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が3回
担当教授	Davina Chan
授業内容	心理学的な知識や用語の解説など。
試験・課題など	レポート、中間・期末試験
感想を自由記入	心理学の基本的な内容を扱っていて、覚えることが多い。生物的な要素も多く含んでいる。授業自体は賑やかに進んで行く。

### 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2016年 1月～3月	TOEIC に向けた勉強
4月～7月	TOEIC 受験
8月～9月	
10月～12月	留学に応募
2017年 1月～3月	留学準備
4月～7月	ビザ取得、留学準備 出発 留学開始
8月～9月	留学終了 帰国
10月～12月	
2018年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	漠然とした理由しかありませんが、やはり一番は海外経験を積みたいということです。というのも、これから先社会人になった際には日本に止まらない広い視野を持って仕事に臨みたいと考えているので、海外経験を多く積むことは自分にとって重要だと思ったのです。また、カリフォルニア大学バークレー校という世界でも指折りの大学で勉強することは、自分にとっていい刺激となるだろうと思い、今回の留学に参加することを決めました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	英語力を向上させるというのは当然ですが、日本での日々の生活を送りながら十分な英語力をつけようとしても限度があります。そこで自分が必要だと感じたことは、アメリカ(留学先)での流行を知っておくということです。留学先で現地の友達を早く作るためにはそれが一番有効だと思います。友達を早く作ることで、現地の生活にも早く慣れることができ、授業に関しても友達に聞くことができるので、友達づくりは早いに越したことはないと思います。
この留学先を選んだ理由	自分に合った留学先を探してるうちにこの大学にたどり着きました。自分は4年でちゃんと明治大学を卒業し、ゼミ活動に大きな支障を与えず、就職活動にもしっかりと取り組めるような形で留学先を探していました。そうなってくると、今回参加した UCSS が一番適当だったため、これを選びました。また、UCSS ではどの分校に参加するか選べますが、自分はバークレーかロサンゼルスで検討しました。規模やレベル、利便性などを考えると自分はこの二校が良いかと思いました。
大学・学生の雰囲気	おそらく自分が行った大学に限らないとは思いますが、基本的に何事に関しても自由な風潮です。自分の中ではアメリカのイメージ通りの大学でした。柔軟に対応してもらえるのでやりたいことは何でもできます。また、学生は様々な国からきているので、色々な人種や民族と交流することができます。学校の施設は基本的に年季が入っていますが、とても綺麗に手入れされていて気持ちがいいです。伝統的で趣のある図書館は勉強するにはとてもいい環境だと感じました。
寮の雰囲気	自分が滞在していた寮は Unit2 Ehaman というところでした。3人部屋でしたが、少し窮屈なため2人部屋をオススメします。共用スペースはこまめに掃除されるのでとても清潔です。1階にラウンジがあるのですが、そこには卓球台やテレビ、ビリヤードなどがあります。週末などは、寮全体での企画が行われます。遊園地に行ったり、野球観戦などが催されます。寮に住んでいる人はほとんどみんなフレンドリーなのでとても過ごしやすいです。
交友関係	基本的には寮の学生と仲良くなることが多いです。もちろん授業が一緒の人とも仲良くなりますが、寮の友達の方が長い時間を一緒に過ごすのでより仲良くなれる気がします。また、自分が参加していた期間は本当に様々な地域の学生さんが来ていたので、色々な人と話ができることも魅力の1つだと思います。あとは、スポーツは仲良くなるきっかけになることが多いです。スポーツをしている間は英語の上手い下手は関係なくなるので、スポーツを通じて仲良くなるのは非常に効果的でしょう。
困ったこと、大変だったこと	大学には様々な学生や先生がいるため、使われている英語も様々です。なので自分の英語が普通に通じる時もあれば、全く通じない場合もあります。特に自分が困ったのは、ネイティブの人との会話です。ネイティブの人の英語は本当に聞き取りずらかったと思います。本当に集中して聞いていないと中々会話が上手く成立しないので、最初は結構大変で疲れてしまいました。ただ慣れてくると徐々に聞き取れるようになるので、粘り強く聞き取るようにした方がいいと思います。
学習内容・勉強について	自分は地理系、音楽系、心理系の科目を履修しました。難易度的に言えば、地理系、心理系、音楽系の順だと思います。地理系の授業は基本的にレクチャーとディスカッションでした。音楽系にも似たような感じです。心理系はレクチャーのみですが、課外授業のようなものがあり、それに参加することもできます。どの授業も本当におもしろかったのですが、強いて1つおすすめするなら地理系の科目かなと思います。自分が地理が好きということもありますが、何よりカリフォルニアの地形や、産業、人種などについて詳しく学習できたことはとても有意義でした。
課題・試験について	課題は多かったです。留学前のガイダンスでそのことについては聞いていたので覚悟はしていましたが、最初は慣れるまでかなりきつかったです。大学受験の時を思い出しました。また、英語が堪能な学生が早く課題を終わらせてしまう状況を見てると、なんだか複雑な心境になりました。しかし課題はやらないと本当に授業についていけないので、しっかり取り組んだ方がいいと思います。試験は本当に先生によって形式が違いますので、一概には言えませんが、論述が多かった印象です。

大学外の活動について	恐らく最初のうちは現地での生活に慣れるまでそこまで多くの活動はできないと思いますが、余裕がでてきたら絶対様々な活動に参加するほうが良いと思います。自分はそういった活動はしていなかったので少し後悔しています。いい思い出づくりになるし、多くの人と交流できるいい機会なので参加するべきだったと思います。代表的な活動はやはり部活でしょう。もしやるならば、自分がある程度できる部活に参加することをお勧めします。なぜならできるスポーツなどをする事で勉強のストレス発散になるからです。
留学を志す人へ	ありがたいことに明治大学は留学プログラムが豊富で様々な選択肢があるので、留学に行きたい人は自分にあったプログラム、自分のやりたいプログラム、自分の目標にあったプログラムに参加することをお勧めします。そして、時間のある学生時代に何かやっておきたいと思っている人には留学は非常におすすめです。とにかく留学には新しい刺激が多く、退屈することはまずないと思います。留学は楽しいこと、大変なこと、悲しいこと、嬉しいことなど様々なことがあると思いますが、終わってみたら充実してたと感じることができると思いますし、充実してたと感じるように努力するべきだと思います。

## 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中							
	授業	授業	授業	授業	勉強		
午後	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食
	授業		授業	ジム	授業	寮のイベント	自由時間
夕刻	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食
夜	勉強	勉強	勉強	勉強			勉強